

I 次の各問いに答えなさい。

(1)  $\frac{5}{9} \div \left(-\frac{1}{6}\right) \times \left(-\frac{3}{20}\right)$  を計算しなさい。

(2)  $\left(\frac{1}{\sqrt{20}} - \sqrt{45} + \sqrt{80}\right) \div \frac{\sqrt{5}}{10}$  を計算しなさい。

(3)  $a=2$ ,  $b=-\frac{5}{4}$  のとき、 $3a^5b \div \frac{a}{2b} \div \left(-\frac{5}{8}a^3\right)$  の値を求めなさい。

(4)  $2a^2b - 12ab + 16b$  を因数分解しなさい。

(5) 連立方程式  $\begin{cases} x+4y=-1 \\ -2x+y=a \end{cases}$  の解が  $x=1$ ,  $y=b$  であるとき、 $a$ ,  $b$  の値を求めなさい。

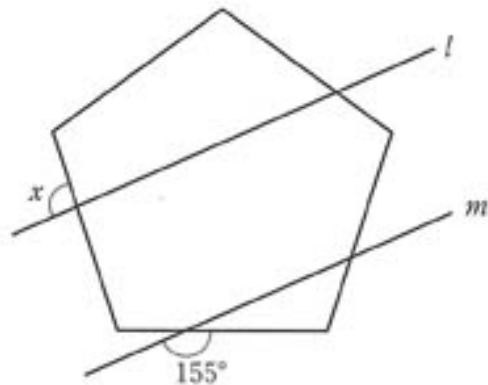
(6) 2次方程式  $(x-1)^2 - (x-1) - 12 = 0$  を解きなさい。

(7)  $3 + 3^2 + 3^3 + \dots + 3^{10}$  を計算したとき、1の位の数求めなさい。

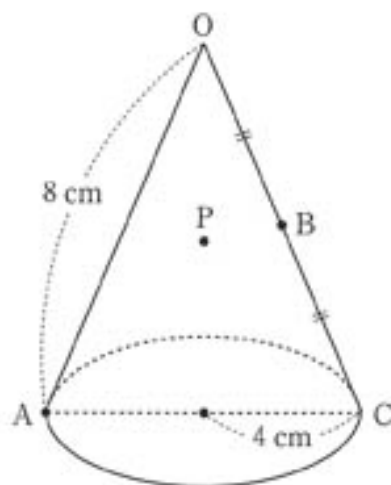
(8) 下の数を小さい順に並べ、①～③の番号で答えなさい。

- ① 6.7                      ②  $\sqrt{45}$                       ③  $\frac{\sqrt{174}}{2}$

(9) 右の図のような正五角形に、平行な2直線  $l$ 、 $m$  が交わっている。このとき、 $\angle x$  の大きさを求めなさい。



(10) 右の図のように、底面の半径が4 cm、母線の長さが8 cmの円すいがあり、線分OCの中点をBとする。円すいの側面を動く点Pが、点Aから点Bまで移動するときの最短距離を求めなさい。

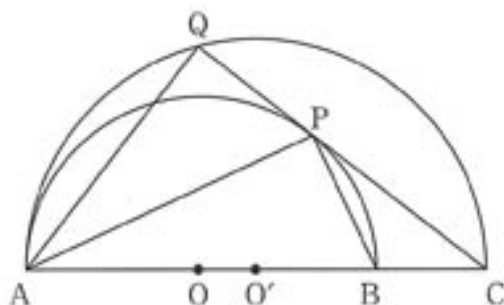


II 次の各問いに答えなさい。

- (1) 下の数字は、あるクラスの生徒 14 名の小テストの得点である。このとき、得点の中央値を求めなさい。

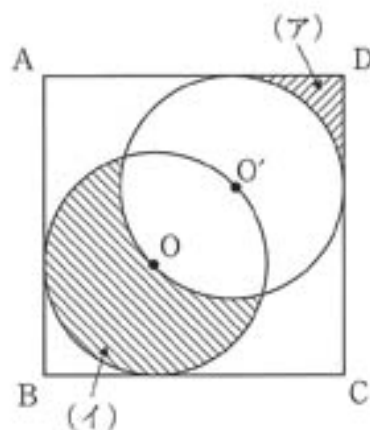
12, 10, 8, 15, 18, 13, 17, 9, 20, 19, 11, 17, 6, 1

- (2) 図のように、AB, AC をそれぞれ直径とする 2 つの半円 O, O' があり、点 C からひいた直線は点 P で半円 O と接し、点 Q で半円 O' と交わる。∠PAB = 28° のとき、∠PAQ の大きさを求めなさい。



- (3) 図のように正方形 ABCD があり、その内部に半径 4 cm の円 O, O' がそれぞれ正方形の 2 辺と接している。また、2 つの円 O, O' は互いに円の中心を通っている。このとき、下の各問いに答えなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とする。

- ① 図の斜線部分 (ア) の面積を求めなさい。



- ② 正方形 ABCD の 1 辺の長さを求めなさい。

- ③ 図の斜線部分 (イ) の面積を求めなさい。

Ⅲ 図のように、点  $A(1, 3)$  で交わる 2 直線  $l$ ,  $m$  と、放物線  $y = ax^2 \dots \dots \textcircled{1}$  がある。直線  $l$  は点  $B(3, 1)$  を通り、 $y$  座標が 8 である点  $C$  で放物線と交わる。また、直線  $m$  は原点を通り、放物線  $\textcircled{1}$  と点  $D$  で交わる。このとき、次の各問いに答えなさい。

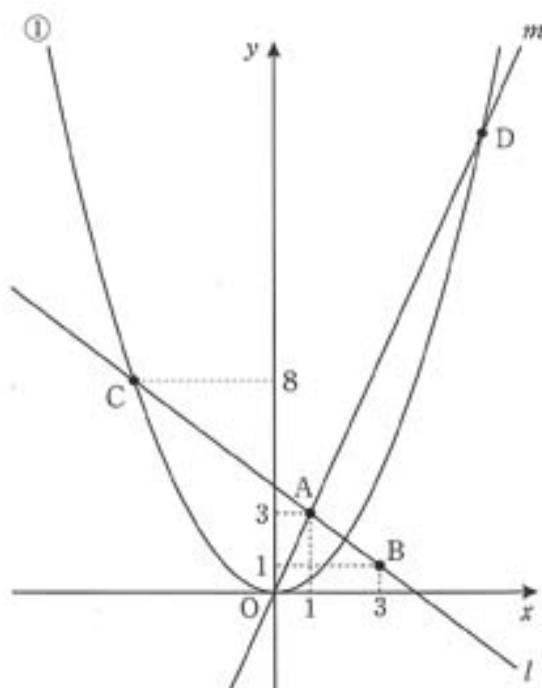
(1) 直線  $l$  の方程式を求めなさい。

(2)  $a$  の値を求めなさい。

(3) 点  $D$  の座標を求めなさい。

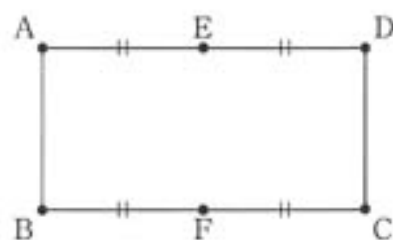
(4)  $\triangle OBD$  の面積を求めなさい。

(5)  $\triangle OBD$  と  $\triangle OPD$  の面積が等しくなるような点  $P$  を放物線  $\textcircled{1}$  上にとる。このとき、点  $P$  の座標を求めなさい。ただし、点  $P$  の  $x$  座標は負とする。



Ⅳ 図のように、縦 4 cm、横 8 cm の長方形 ABCD があり、辺 AD、BC の中点をそれぞれ E、F とする。この 6 点 A ~ F から 3 点を選びそれぞれ線分で結ぶ。このとき、次の各場合は何通りあるか答えなさい。

(1) すべての選び方。



(2) 結んだ線分によって三角形が作られる選び方。

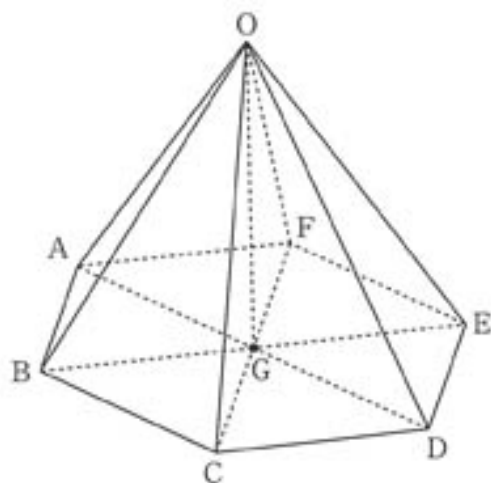
(3) 三角形となる選び方のうちで、面積が最大となる選び方。

(4) 結んだ線分によって直角三角形が作られる選び方。

V 図のように、1辺の長さが2 cmの正六角形 ABCDEF を底面とする六角すいがあり、 $OA = OB = OC = OD = OE = OF = 4$  cmとする。また、頂点 O から底面 ABCDEF へ垂線を下ろし、交点を G とする。このとき、次の各問いに答えなさい。

(1) 線分 OG の長さを求めなさい。

(2) 正六角形 ABCDEF の面積を求めなさい。



(3) 六角すいの体積を求めなさい。

(4) 線分 AB, FA, OA をそれぞれ 1 : 2 に分ける点を P, Q, R とする。このとき、

①  $\triangle APQ$  の面積を求めなさい。

② 四面体 APQR の体積を求めなさい。

I	(1)	$\frac{1}{2}$	(2)	11	(3)	-30
	(4)	$2b(a-2)(a-4)$		(5)	$a = -\frac{5}{2}$	$b = -\frac{1}{2}$
	(6)	$x = 5, -2$	(7)	2	(8)	③ < ① < ②
	(9)	97 度	(10)	$4\sqrt{5}$ cm		

II	(1)	12.5 点	(2)	28 度
	(3)	① $16 - 4\pi$ cm <sup>2</sup>	② $8 + 2\sqrt{2}$ cm	③ $8\sqrt{3} + \frac{16}{3}\pi$ cm <sup>2</sup>

III	(1)	$y = -x + 4$	(2)	$a = \frac{1}{2}$	(3)	( 6 , 18 )
	(4)	24	(5)	( -2 , 2 )		

IV	(1)	20 通り	(2)	18 通り	(3)	6 通り
	(4)	14 通り				

V	(1)	$2\sqrt{3}$ cm	(2)	$6\sqrt{3}$ cm <sup>2</sup>	(3)	12 cm <sup>3</sup>
	(4)	① $\frac{2\sqrt{3}}{9}$ cm <sup>2</sup>	② $\frac{8}{27}$ cm <sup>3</sup>			